

## C-2. 網膜動脈閉塞症に対する高気圧酸素療法 その(2)

名古屋大学医学部眼科

三宅養三 長谷川康紀 渡辺郁緒

名古屋大学病院高気圧治療部

高橋英世 小西信一郎 平山れい子

名古屋大学医学部第一外科

城所仁 川村光生 小林繁夫

榊原欣作

網膜動脈閉塞症のなかには高気圧酸素療法(OHP)により視機能の改善を示す症例がありその作用機序,電気生理学的探究については既に詳しく報告した。今回は既報の4例に加え14例の本疾患に対するOHPの効果につき述べる。

### 〔結果〕

(1) 治療効果の判定には1回のOHP前後の視機能を比較して改善を認めた症例のみを有効とした。有効8例,無効6例であった。

(2) ERG(Electroretinogram)のa波にも減弱のみられた眼動脈閉塞症の例は発症後からOHP開始までの時間に関係なく無効であった。この治療法が既報に述べたように脈絡膜血行からの酸素供給の依存が大きい事を考えると網膜動脈のみならず脈絡膜血管にも血行障害のある本症例には効果が少ないものと思われる。

(3) a波には減弱のみられない網膜動脈閉塞症11例において治療効果を左右する最も大きな因子は発症後からOHP開始までの時間であると考えられた。

(2),(3)より得られる分回の結果は,ERGのa波に異常がなく,発症後3~4日以内にOHPを開始すれば効果が期待できると考える。

(4) OHP下において4例の視機能が経時的に検査され有効例3例には次の共通点があった。

(イ) 3ATA O<sub>2</sub>の加圧完了後約10分後に視機能の改善が著しかった。

(ロ) その後,約60分間の治療中の視機能の改善は軽度であった。

(ハ) 除圧後,視機能の逆戻り現象は殆んどみられなかった。

以上の事よりOHPは酸素が網膜内層にまで及ぶ事による網膜の擁護のみならず anoxiaにより生ずる網膜内層の悪循環を改善する事が考えられる。